

## **CsCmd32.DLL API リファレンス**

© RiBiG Inc. 2008

## int CsQueryPage()

### 機能

TKB の現在のステータス(ファイルとページ)を取得する。

### 引数

なし

### 戻り値

ファイル番号とページ番号を戻り値の以下ビット位置に返す

ファイル番号: 15~8 ビット

ページ番号: 下位 8 ビット(7~0 ビット)

ページ番号のベースは 0。TKB で 1 ページが表示されている場合、ページ番号は 0。  
ページ番号の有効範囲は 0 から 35。

ページ番号が 255 として戻された場合、TKB 側に DLL が置いていないことが原因である可能性が高い。

ファイル番号のベースは 0。ファイル番号の有効範囲は<TABLE>フォルダに作成したファイルフォルダによって決められる。

コード例 :

```
short nCurrentFile;
short nCurrentPage;
private void QueryCsPage()
{
    try{
        int nFilePage = CsQueryPage();
        nCurrentFile = (short)((char)(nFilePage >> 8));
        nCurrentPage = (char)(nFilePage & 0xff) + 1;

        if (nCurrentPage >= 0 && nCurrentPage < 36)
```

```
        // ok
    else{
        if (nCurrentPage == 255){
            MessageBox.Show("KB側にDLLが置いてあるか確認してください",
                "Sample Program",
                MessageBoxButtons.OK,
                MessageBoxIcon.Stop);

            Application.Exit();
        }else
            MessageBox.Show("TKBのページを取得できませんでした",
                "Sample Program",
                MessageBoxButtons.OK,
                MessageBoxIcon.Warning);

        nCurrentPage = -2;
    } // else
} // try
catch (Exception )
{
    nCurrentPage = -2;
}
} // private void QueryCsPage()
```

## int CsChangePage(int nFile, int nPage)

### 機能

TKB のステータス(ファイルとページ)を指定ファイル、ページに変更する

### 引数

int nFile ... 変更後のファイル番号

int nPage ... 変更後のページ番号

ページ番号のベースは 0。TKB にページ 1 を表示する場合、ページ番号は 0。  
ページ番号の有効範囲は 0 から 35。有効範囲外のページ番号を指定しないこと。

ファイル番号のベースは 0。設定可能なファイル番号は<TABLE>フォルダに作成したファイルフォルダによって決められる。<TABLE>フォルダ内にはないファイル番号は指定しないこと。

### 戻り値

変更後のファイル番号とページ番号を戻り値の以下ビット位置に返す

ファイル番号: 15~8 ビット

ページ番号: 下位 8 ビット(7~0 ビット)

ページ番号のベースは 0。TKB で 1 ページが表示されている場合、ページ番号は 0。  
ページ番号の有効範囲は 0 から 35。

ファイル番号のベースは 0。ファイル番号の有効範囲は<TABLE>フォルダに作成したファイルフォルダによって決められる。

変更前のステータスと戻り値を比較することで、正しくファイル/ページが変更されたかどうかを確認できる。

コード例 :

```
private void ChangePage(int nPage)
{
    int nFile;
```

```
nFile = int.Parse(comboBox1.Text);

if (nPage >= 1 && nPage <= 36)
{
    //TABLEフォルダ内に設定したファイルフォルダ以外のファイル番号は
    //絶対に指定しない. このサンプルでは、comboBox1で指定可能なファイル番号
    //のみを選択可能にすることで制限をかけている
    if( nFile >=0 && nFile <= 99 )
        CsChangePage(nFile, nPage - 1);
    else
        CsChangePage(0, nPage - 1);
}
}
```

CsChangePage の戻り値は、CsQueryPage のコード例を参照。  
ユーザーがTKBをインターアクティブな使い方をしているため、エラーが発生した場合、何が起きたのかユーザーが分かるため、コード例では戻り値をチェックする必要はないものとした。